



**新年会・忘年会・
歓送迎会**

会社の仲間やサークル・友人など、人が集えばおきやくが始まるのが高知の風土。ご予算やお席の要望に応じて最高のおもてなしをいたします。地元の方だけでなく、県外や海外の方からもご好評いただいています。



**土佐のおきやくのルールは
「皆が笑顔でお開きできる」
ただ、それだけです**

「ゆつたり和やかに美味しい食事を楽しみたい」「土佐芸妓と、とことんお座敷遊びで盛り上がりたい」すべてが土佐のおきやくの正解！ 要は「またやりたいね」と笑顔でお開きできれば良いのです。お客様らしい楽しみ方を濱長がお手伝いいたします。



**「おきやく」は
万国共通！**

ユネスコの無形文化遺産「和食」は世界で注目されています。海外からのお客様にもお料理やお座敷遊びが大好評！

料亭で女子会！

女性だからこそ楽しめる濱長があります。個室のお部屋で仲間と愉しいひと時を過ごせます



お座敷遊びコース

お料理と飲み放題・お座敷遊びがセットの濱長定番のコースです。
お得な料金で土佐のお座敷遊びを楽しめる

「濱長入門コース」と、華やかな芸妓さんとお座敷遊びを楽しむ「芸妓お座敷遊びコース」の二つがあります。
ご宴会から同窓会・親睦会などお席の大小問わず盛り上げて欲しい席にお勧めです。



**大おきやくから
二次会まで**

1フロア120名様規模の「大おきやく」から、親しい人同士でじっくり飲む少人数の飲み会までご予算に合わせて幅広く対応。
二次会も対応出来ます。



「濱長」の歴史



初代女将・千代子の日記より

Diary of the first landlady Chiyoko

終戦後、復員してきた主人はすぐに、「椿」さん、「松原」さん、「得月花壇」と共同で、高知公園の中にあつた「花壇」さんの店を使って、進駐軍用の料飲店を開く準備に取りかかりました。ところが、進駐してきた米軍はこの「花壇」を、将校用の宿舎に接収してしまいました。このため、やむを得ず店は場所を変え、越前町で開業することになったのです。この店は寄り合いの所帯のせいのもあつて、結局はうまくいかず、間もなく解散。私たち夫婦は、現在の丸の内高校南側の武藤さんのお屋敷を借りて店を始めることになりました。昭和21年、この「濱長」が、私の「おかみさん」稼業の初



↑家族、全従業員が集まって新年宴会。正面真ん中が夫・濱口八郎（南はりまや町の旧「濱長」）

←夫婦そろっての金婚式の記念写真（昭和61年・濱長にて）

舞台でした。帳場は板場の隣にあつたわずか二畳の部屋。そのうちの一畳で番頭さんと私が帳面をつけ、もう一畳には赤ん坊だった二男を寝かせていました。県庁に近いせいもあつたでしょうが、店はおかげさまで繁盛しました。

昭和23年、南はりまや町に移転したころには、県議会や国会の先生方も、よくお見えになりました。私どもの店が現在の高知市唐人町に映つたのは昭和61年ですが、それまでの南はりまや町では四十年近くも営業させていただきました。いざ移つてみると新しい店

はすぐ下を流れる鏡川が敷地の狭いのを十分に補つてくれて大成功。それに、「魚梁瀬杉の間」「大正ヒノキの間」など、土佐の銘木を使った部屋を造つたのも好評でした。店を出しているんなことがありました。そして、いろんな人と出会うことができました。高知観光にも少なからず貢献してきたと自負しております。

「おかみの日記」は、娘の賀世に、そして孫の実佐子、曾孫の咲良へと繋がって4世代。千代子の植えた桜の木も順調に育ち、濱長を静かに見守ってくれています。



時を経て、平成22年。祖父の思いを温め、絶やさぬようにと、女将(高知県観光特使)濱口実佐子が立ち上げたのが「濱長・花神楽」。料亭らしい「和」のイメージ、「土佐らしさ」を現代の日本の景色や踊り子、見物される皆様のハートにマッチするようにアレンジしました。料亭の連、また高知県観光特使が率いる連として、高知県内の観光イベントや、祭典、宴席、県外のおよさこい祭りにて披露させていただきます。



濱長とよさこい



夫濱口八郎は、高知県のついでには、主人が日本舞踊各観光振興には熱心で、高知市の夏の名物行事「よさこい祭り」には、高知商工会議所観光部会の役員だったこともあり、随分と力を入れておりました。

「よさこい祭り」が初めて行われたのは昭和29年。戦後の荒廃した市民生活が落ち着きを見せ始めた頃でした。市民の健康と繁栄を祈願、夏枯れの商店街振興を促し、活性化させるためでした。鳴子踊りのあのにぎやかなリズム、鳴子のアイデアなどは申すまでもなく作曲家家の武政英策先生によるものですが、踊りの振り付けに

「よさこい祭り」が初めて行われたのは昭和29年。戦後の荒廃した市民生活が落ち着きを見せ始めた頃でした。市民の健康と繁栄を祈願、夏枯れの商店街振興を促し、活性化させるためでした。鳴子踊りのあのにぎやかなリズム、鳴子のアイデアなどは申すまでもなく作曲家家の武政英策先生によるものですが、踊りの振り付けに

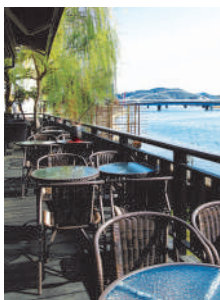
「よさこい祭り」が初めて行われたのは昭和29年。戦後の荒廃した市民生活が落ち着きを見せ始めた頃でした。市民の健康と繁栄を祈願、夏枯れの商店街振興を促し、活性化させるためでした。鳴子踊りのあのにぎやかなリズム、鳴子のアイデアなどは申すまでもなく作曲家家の武政英策先生によるものですが、踊りの振り付けに



昭和29年、第1回よさこい祭りの様子

一階

鏡川の流れを目前に、贅沢なひと時を過ごせる一階。解放感抜群のカウンター席でゆったり過ごすのもよし、テラス席で風を感じながらのお食事もよしと使い方色々。土佐見番は十五名様前後の女子会や二次会にも最適。



二階

黒と朱赤を基調としたしつらえが人気のフロア。民権運動を支えた明治の芸妓たちと、濱長に大きな貢献をした芸妓の名前にあやかった部屋名が趣きを添えます。個室六部屋はお客様の席内容に応じて繋げた使い方も可能。全面オープンにすれば、婚礼やイベントにも大活躍。一二〇名様クラスまで対応。



三階

完全個室。料亭らしい和の空間で、会合やお接待、ご家族のお祝い事などの大切な席にご利用いただいております。各お部屋に独立して化粧室がございますので、プライベート空間として心ゆくまでお過ごしくださいませ。おひとり様から三〇名様クラスまで対応。



四階

一〇〇名様クラスまで対応可能な大広間。中央に襖を入れ、廊下を作り、二つに仕切れば三〇名様クラスまで対応の小宴会場仕様に。昔ながらの土佐のおきやくを満喫できる開放的な空間です。五〇名様前後の椅子・テーブル仕様で、ゆったりとくつろぐ宴会を希望するお客様にも人気です。



各コースのご案内



濱長入門コース（4名様から）

16,500円（税込）
22,000円（税込）

芸妓お座敷遊びコース（4名様から）

松 38,500円（税込）
竹 33,000円（税込）
梅 28,050円（税込）

ご宴会コース（12名様から）

11,000円（税込）

ご予算によって
お気軽に
ご相談下さい。

